

報道関係者各位

2019年1月7日

株式会社アマナ

小林健太個展「Rapid Eye Movement」

～ IMA gallery 2019年最初の展覧会～

さまざまなビジュアルコミュニケーション事業を展開する株式会社アマナ(本社:東京都品川区、代表取締役社長 進藤博信、以下「アマナ」)のアートフォト専門ギャラリーIMA gallery では、明日より、写真家・小林健太個展「Rapid Eye Movement」を開催します。



小林健太個展 「Rapid Eye Movement」

会期：2019年1月8日(火)-1月22日(火)

時間：11:00～19:00(日曜・祝日休)

会場：IMA gallery(住所:〒140-0002 品川区東品川 2-2-43 T33ビル1F)

<https://amana.jp/company/shops-galleries/imagallery.html>

入場料：無料

問合せ：TEL/ 03-3740-0303、E-Mail/ imagallery@imaconceptstore.jp

ポインターが画面を踊る。ピクセルがさざ波を立て色彩が変形する。
運動が画像を貫く。運動が画像を貫く。運動が画像を貫く。

二次元に展開されるこの情報空間は、さながら夢の外在化のようだ。
限られたインターフェースを介して置き去りにされる身体感覚と、めくるめくポインターの舞。
それは筋肉への情報伝達を遮断し、眼球のみが高速に動く“レム睡眠”と相似形を描く。

情報空間の発展が、外在化した夢の拡大を意味するなら。
僕は夢の輪郭に触れたいのかもしれない。その感触を確かめたいのかもしれない。

ただ眼球だけがぐるぐる回る輪廻の中で。
閉鎖された神経回路をこじ開けるべく、もがき続けろ！

夢の意味は、夢から醒めた者にしかわからない。だから

————— 小林健太

現代の写真家にとって、カメラはすでにイメージ制作プロセスにおける唯一の存在ではなくなり、画像編集・加工ツールを使用することはごく当たり前のことになりつつあります。小林健太が素材とするのは、さまざまなデバイスで捉えた自身の姿や日常風景ですが、元の画像は Photoshop 等の画像編集ツールによってあからさまに加工されています。写真の上に描かれたデジタルのドローイングは、キャンバスとなる写真とのコミュニケーションを通して生まれた混ぜ物であり、むしろその筆跡を加えることを作品の中心としています。

加工と元画像との間の関わり --- それは、写真というものは外界に向けて開かれた「透明な窓」ではなく、現実というものの描写が壊れていることを見せる幻想に過ぎないと、言い換えられるかもしれません。つまり、私たちにとって、現実の描写と呼ばれるものは常に創作であり、小林の創作は薄い表層だけがリアルなのだと言っているのです。

▼小林健太略歴

1992 年神奈川県生まれ。「真を写す」とは何か、という問いとして写真を捉え、様々な試みの中からその輪郭を縁取っていく。主な個展に「EVERYTHING NOW」Stieglitz 19(ベルギー・アントワープ、2017 年)、「自動車昆虫論／美とはなにか」G/P gallery(東京、2017 年)、「#photo」G/P gallery(東京、2016 年)。主なグループ展に「ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて」水戸芸術館(水戸、2018 年)「GIVE ME YESTERDAY」フォンダツィオーネ・ブラダ・ミラノ(イタリア・ミラノ、2016 年)、「新しいループ・ゴールド バーグ・マシーン」KAYOKOYUKI・駒込倉庫(東京、2017 年)、「New Material」ケースモア・カークビー、(米国・サンフランシスコ、2016 年)、「trans-tokyo / trans-photo」集美×アルル国際フォトフェスティバル(中国・廈門、2015 年)等。

主なコレクションに、サンフランシスコアジア美術館(アメリカ)などがある。2016 年、写真集「Everything_1」が Newfave より発行。

▼アートフォトの専門ギャラリー「IMA gallery」

<https://imaonline.jp/imaproject/ima-gallery/>

IMA gallery のコンセプトは“LIVING WITH PHOTOGRAPHY”。アートフォトのある暮らしをもっと身近に楽しむためのスペースとして、2014 年に東京・六本木にオープン、2017 年に品川・天王洲に移転しました。若手写真家のための活躍の場を創出する“IMA プロジェクト”のひとつとしてスタートして以来、所属作家を中心に、国内外の若手日本人写真家による展覧会やアーティストやクリエイターを招いたトークショーを実施するなど、アートフォトを多角的に楽しみながら学べる機会を提供しています。

“IMA プロジェクト”は写真雑誌「IMA」の刊行や、ウェブサイト「IMA ONLINE (<https://imaonline.jp/>)」のメディア事業も展開し、多方面から好評をいただいているアマナグループのアートフォトプロジェクトです。また併設のカフェ「IMA Cafe」(<http://ima-cafe.com/>)では、厳選されたこだわりのコーヒーもお楽しみいただけます。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ コーポレートコミュニケーション室 担当: 水沢 / 住永

TEL: 03-3740-3500 MAIL: pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代 表 者 : 代表取締役社長 進藤博信
所 在 地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 : 1979 年 4 月
資 本 金 : 10 億 9,714 万円
証 券 コード : 東証マザーズ 2402
売 上 高 : (連結)217 億 52 百万円 ※2017 年度 12 月期実績
従 業 員 数 : (連結)1,022 名 ※2019 年 1 月 1 日現在
事 業 内 容 : ビジュアルコミュニケーション事業
U R L : <https://amana.jp/>